

平成29年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 20

| | | | | | | | |
|-------|-------------------------|----------|-------|----------|------|--------|---------|
| 主要事業名 | スポーツ活動の推進，スポーツを通じた交流の推進 | | | | | 作成日 | H30.6.4 |
| | | | | | | 担当課名 | スポーツ推進課 |
| 事業の性質 | 法定受託事務 | 自治事務（義務） | ○ | 自治事務（任意） | ○ | 市民サービス | 管理経費 |
| 事業期間 | 単年度 | ○ | 年度繰返し | 期間限定 | 年度から | | 年度まで |
| | | | | | 建設事業 | | その他 |

1 事業の位置づけ

| | | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|------------------------------|--|---------------------------|---|----------------|--|
| ①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ | | | | ②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ | | | |
| 重点目標 | 6 | ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | | 基本目標 | 1 | スポーツでつながるまちづくり | |
| 体系項目 | (1) | 幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進 | | 基本政策 | 1 | 笑顔あつまるスポーツのまち | |
| | | | | | 2 | 健康で活みなぎるまち | |
| 個別施策 | ① | スポーツ事業の開催と体験する機会の提供 | | 基本施策 | 1 | スポーツ交流の推進 | |
| | | | | | 1 | スポーツ活動の推進 | |
| 根拠法令等 | スポーツ基本法，第三次スポーツ推進計画 | | | | | | |

2 事業概要（Plan）

| | |
|--------------------------|--|
| 事務事業の概要・背景 | 各スポーツ団体等と連携を図り，シンボルスポーツを中心としたスポーツコンベンション事業を開催するとともに，スポーツ情報の提供や既存大会の規模拡大，大規模な大会の誘致など，多くの市民がスポーツを楽しみ，交流できる機会の拡充を図る。また2019年に開催する第74回国民体育大会をはじめ，2020年東京オリンピックの鹿嶋市開催を契機として，スポーツに対する市民の機運醸成を図る。 |
| 目的（事業の目指すところ） | ①スポーツコンベンション事業・健康づくりスポーツ教室等の開催 ②成人の週1回以上スポーツ実施率50%以上（目標年度平成33年度） |
| 目的達成のための手順 | <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルスポーツ大会及び教室等の開催，大規模大会の誘致 ・スポーツ団体に対する支援 ・市民スポーツの普及・スポーツ関連情報の提供 ・健康づくり（障がい者）スポーツの開催，支援 |
| 国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等 | <ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催決定を契機として，国を始め，国民，団体，企業等の「スポーツ」への関心が高まっている。 ・茨城県では，平成31年茨城国体を契機として，スポーツに対する関心意欲を更に高揚させ，健康・体力の保持増進と競技力向上に取り組んでいる。 ・市民からスポーツ環境（施設・事業）の充実についての要望が多い。 |

3 数値目標と実績（Do）

| 数値目標 | 目標内容 | 単位 | 29年度 （実績） | 30年度 （予定・見込） | 31年度 （予定・見込） | 32年度 （予定・見込） | 33年度 （予定・見込） |
|------|-----------|-----------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | スポーツ実践者数（施設利用者） | 人 | 427,937 | 500,000 | 500,000 | 500,000 |
| | 成人スポーツ実施率 | % | 40 | 40 | 45 | 45 | 50 |

| 投入コスト | 全体計画 | | 29年度 （決算額：千円） | 30年度 （予算額：千円） | 31年度 （計画額：千円） | 32年度 （計画額：千円） | 33年度 （計画額：千円） |
|---------------|---------------------|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 事業経費 | スポーツホームページ更新 | | 130 | 130 | 130 | 130 |
| 下伝武道（柔道・剣道）大会 | | | 900 | 900 | 900 | 900 | 900 |
| サッカーフェスティバル大会 | | | 1,800 | 2,200 | 2,200 | 2,200 | 2,200 |
| ビーチサッカー大会 | | | 2,606 | 2,606 | 2,606 | 2,606 | 2,606 |
| 駅伝大会 | | | 5,452 | 5,452 | 5,452 | 5,452 | 5,452 |
| スポーツ振興事業補助金 | | | 5,350 | 5,350 | 5,350 | 5,350 | 5,350 |
| 健康づくりスポーツ教室 | | | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| | 合計 | | 16,388 | 16,788 | 16,788 | 16,788 | 16,788 |
| 財源内訳 | 国県支出金 | | | | | | |
| | 地方債 | | | | | | |
| | その他（スポーツ振興くじ助成金） | | 5,044 | 5,044 | 5,044 | 5,044 | 5,044 |
| | 一般財源 | | 11,344 | 11,744 | 11,744 | 11,744 | 11,744 |
| 従事職員数 | 正規職員（フルタイム勤務者） | | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | その他職員（再任用（短），嘱託職員等） | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

3 具体的施策評価 (Check) 主要事業名:スポーツ活動の推進, スポーツを通じた交流の推進

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

| 具体的施策名 | 達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定 | | 事業実施に直接関連する指標 に係る評価 ※何を行ったか | 成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか | 執行工夫・日常業務改善 の取組に係る評価 | 個別事業実績評価 |
|--|--|--|--|---|--|---|
| | 事業実施に直接関連する指標 | 成果に関する指標 | | | | |
| ①シンボルスポーツ大会 及び教室等の開催, 大規模 大会の誘致 【比率: 70%】 | <ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル 各部門年1回開催(実行委員会2回, 監督者会議2回) ト伝杯武道大会(剣道・柔道の部) 年1回開催 ビーチサッカー大会 年1回(一般の部, 小学生の部)開催 駅伝大会 年1回開催 ビーチスポーツの開催 | <ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル 100チームの参加 剣道 90チーム以上の参加 柔道 70チーム以上の参加 ビーチサッカー 一般15チーム 小学生15チーム 駅伝大会 175チーム 新たなビーチスポーツ イベント | <ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル年1回開催(実行委員会2回, 監督者会議2回) ト伝杯武道大会(剣道・柔道)年1回開催(実行委員会4回) ビーチサッカー大会 年1回(小学生・一般の部開催, 実行委員会1回) 駅伝大会 年1回開催(実行委員会3回, 監督者会議1回) ビーチバレー大会の新規開催 年1回 ネットボールアジアユース大会リハール大会 誘致協議 | <ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル 4部門 101チーム参加 剣道 91チーム参加 柔道 69チーム参加 多くの参加チームがあり, 市外チームとの交流が出来た。 ビーチサッカー 一般17チーム 小学生14チーム参加 駅伝大会 173チーム参加 ネットボールアジアユース大会の鹿嶋市開催誘致に向けた, 日本協会との協議実施 | <ul style="list-style-type: none"> 各実行委員会(関係団体等)と連絡を密にするなど連携を強化し, 参加チームの募集に努めた。 ビーチサッカーとビーチバレーを同時開催し, 海岸資源の新たな活用を図ることができた。また平成31年に開催予定のネットボールアジアユース大会の日本(鹿嶋市)開催誘致に向け, 観光協会と日本ネットボール大会の視察を実施した。 | 個別事業実績評価点: 70 [課題] ・夏休み期間中の大会開催のため, 他事業と重複する可能性が高い。 |
| ②スポーツ指導者の養成 及び団体の支援 【比率: 15%】 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツ指導者養成講座(スポーツカレッジ) 10単位開催(障がい者スポーツ講習を含む) 鹿嶋市体育協会補助金交付 鹿嶋市硬式野球(リトル・リトルシニア)協会補助金交付 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツカレッジ 受講者 15人以上 鹿嶋市体育協会補助金 支援団体数 338団体 鹿嶋市硬式野球協会補助金 支援団体数 3団体60名 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツカレッジ 6日間 10単位開催 スポーツコンベンション講演会(女子フェス同時開催) 年1回 鹿嶋市体育協会補助金交付 鹿嶋市硬式野球(リトル, リトルシニア)協会補助金交付 | <ul style="list-style-type: none"> スポーツカレッジ 受講者 22人 スポーツコンベンション講演会(女子フェス同時開催) 受講者 72人 鹿嶋市体育協会補助金 支援団体数 326団体 鹿嶋市硬式野球協会補助金 支援団体数 3団体へ運営支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 女子のスポーツ実践者数が減少する中, 女性アスリートの特性を研究する講師を招き, 女性特有の課題を知る機会となった。 | 個別事業実績評価点: 98 [課題] スポーツ指導者等の高齢化 |
| ③市民スポーツの普及 (スポーツ情報の提供含む) 【比率: 10%】 | <ul style="list-style-type: none"> 10地区公民館(各種健康づくりスポーツ) 年随時開催 スポーツ関連情報を提供するホームページ開設, 運営(JV共同事業体と連携した各スポーツ情報の発信) | <ul style="list-style-type: none"> 10地区50回1,000名の参加者 スポーツ専用ホームページの充実, 市民のスポーツに対する関心を高める。(閲覧20,000件以上) | <ul style="list-style-type: none"> 10地区公民館 平均で年4.7回健康スポーツ教室を開催 各スポーツ大会情報及び市民スポーツや健康づくり事業の推進を図るための情報提供 情報更新の適正化 | <ul style="list-style-type: none"> 10地区47回1,009人の多くの参加があり, 健康増進を図ることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 活動向上のため, スポーツ推進連絡協議会の中で情報交換をし, 地区活動につなげた。 | 個別事業実績評価点: 6.5 [課題] ・地区によって活動の回数に開きがある。 ・新しい情報の更新をスピード感をもって行う。 |
| ④健康づくり(障がい者)スポーツの開催, 支援 【比率: 5%】 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツ体験の開催 障がい者スポーツ指導者講習の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツ体験 2種目以上 障がい者スポーツ指導者講習 15人以上 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツ体験 エンジョイスポーツ時開催 障がい者スポーツ指導者講習 年1回(スポーツカレッジ時) | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツ体験 年1回2種目開催 障がい者スポーツ指導者講習 22人参加 | <ul style="list-style-type: none"> 県障がい者スポーツ指導者協会や福祉団体の協力を得ながら障がい者スポーツ体験等を開催することができた。 | 個別事業実績評価点: 4.3 [課題] 障がい者スポーツの指導, 支援は一人ひとりであった対応が必要であるため, 知識だけではなく経験が大切である |

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

| | | | | | | |
|----------------------|--|------|--|--|--------|---|
| 総合評価方法 | 具体的施策別の比率に, 事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0, B=0.65, C=0.4)を乗じ, 個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。 | 合計点数 | 90.6 | A: 合計点数が80点超 B: 合計点数が50点超80点以下 C: 合計点数が50点以下 | 総合評価結果 | A |
| 実績 | 社会情勢や財政, 他市での取り組みなどを考慮し, 事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 シンボルスポーツ大会をはじめ, スポーツイベントや教室等を開催することで, 県外からも多くの参加をいただくなどスポーツ交流・活動の機会を提供することができた。また平成29年度は, 観光部門や福祉部門と連携した事業を開催した。今後も他分野と連携してスポーツを核とした交流・地域活性化を図る。 | | | | | |
| 充実, 現状維持, 見直し, 休止・廃止 | 充実 | 理由 | スポーツは, 健康増進, 地域コミュニティの形成・活性化などに様々な効果が期待されており, 今後もニーズが高いと考えられる。また, 東京オリンピック等の決定や茨城国体(鹿嶋市サッカー競技会場)を契機としてスポーツへの関心が高まってきている。 | | | |
| 課題 | 継続する場合, 現状認識を踏まえた課題について記入してください。 2019年茨城国体や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を活用したスポーツ事業の拡充を図るとともに, スポーツや健康づくりを核とした様々な分野が協力する体制づくりが必要である。 | | | | | |
| 改善策 | 課題に対する改善策について, 期限や具体的な数値などを記入してください。 スポーツに親しむことによる体力の向上, ストレス発散・生活習慣病予防などの健康増進, その他に地域コミュニケーションの醸成や経済発展など, スポーツの持つ社会的意義と可能性を含めたスポーツ政策が検討されるなか, 鹿嶋市においても地域特性や資源を生かしながら, アントラースホームタウンDMO(鹿行5市)をはじめとする地元企業や市民, 地域, スポーツ団体, 各分野の行政部署と連携することでスポーツによる本市の活性化を図る。 | | | | | |

平成29年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 21-①

| | | | | | | |
|-------|------------------------|----------|----------|--------|----------|----------|
| 主要事業名 | 2019年茨城国体の開催準備（施設整備事業） | | | | 作成日 | H30.5.31 |
| | | | | | 担当課名 | 教育総務課 |
| 事業の性質 | 法定受託事務 | 自治事務（義務） | 自治事務（任意） | 市民サービス | 管理経費 | |
| | | | ○ | 建設事業 | その他 | |
| 事業期間 | 単年度 | 年度繰返し | ○ | 期間限定 | 平成28年度から | 平成31年度まで |

1 事業の位置づけ

| | | | | | |
|-------------------------|-----|----------------------|---------------------------|---|----------------|
| ①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ | | | ②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ | | |
| 基本方針 | 6 | ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | 基本目標 | 1 | スポーツでつながるまちづくり |
| 体系項目 | (3) | スポーツ環境の整備・充実 | 基本政策 | 2 | 健康で活みなぎるまち |
| 個別施策 | ① | 広域的な大会に対応できる施設整備 | 基本施策 | 1 | スポーツ活動の推進 |

| | |
|-------|---------|
| 根拠法令等 | スポーツ基本法 |
|-------|---------|

2 事業概要（Plan）

| | |
|------------|--|
| 事務事業の概要・背景 | 平成31年度に茨城県で開催される国内最大のスポーツの祭典である国民体育大会において、本市はサッカー競技（成年男子，少年男子）の開催地となっている。このため、国民体育大会サッカー競技施設ガイドラインに基づき、競技会場となる北浜多目的球技場、ト伝の郷多目的球技場、高松緑地多目的球技場を整備するもの。 |
|------------|--|

| | |
|---------------|--|
| 目的（事業の目指すところ） | 日本サッカー協会規定に基づく、サッカーグラウンド及び付帯施設（フェンス，観覧席，照明設備，トイレ等）を整備する。 ①ト伝の郷多目的球技場（人工芝）②高松緑地多目的球技場（人工芝）③北浜多目的球技場（天然芝） |
|---------------|--|

| | |
|------------|---|
| 目的達成のための手順 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事を行うため関係課との協議及び調整，近隣住民への説明，関係団体への説明。 ・ 設計業務及び工事監理業務の発注，工事内容の検討・調整・確認，工事の発注。 ・ 工事の工程管理及び工事の監督 ・ 付帯施設（フェンス，トイレ等）の改修及び整備 |
|------------|---|

| | |
|--------------------------|---|
| 国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等 | 茨城県では国体による地方スポーツの普及・振興と地方文化の発展を目指して，県民総参加の国体開催を推進しており，県内の自治体は，平成31年第74回国民体育大会の開催に向けて施設整備等の準備を進めている。 |
|--------------------------|---|

3 数値目標と実績（Do）

| 数値目標 | 目標内容 | 単位 | 29年度 （実績） | 30年度 （予定・見込） | 31年度 （予定・見込） | 32年度 （予定・見込） | 33年度 （予定・見込） |
|------|------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | 市内国体施設の整備会場数 | 箇所 | 1 | 1 | 0 | 0 |

| 投入コスト | 全体計画 | | 29年度 （決算額：千円） | 30年度 （予算額：千円） | 31年度 （計画額：千円） | 32年度 （計画額：千円） | 33年度 （計画額：千円） |
|--------------|---------------------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | 事業経費 | 実施設計業務委託費 | | 0 | 6,665 | 0 | 0 |
| 工事監理業務委託料 | | | 6,480 | 5,814 | 0 | 0 | 0 |
| 工事請負費 | | | 966,691 | 317,841 | 10,000 | 0 | 0 |
| その他（役務費，旅費等） | | | 212 | 130 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | | 973,383 | 330,450 | 10,000 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 国県支出金 | | 434,659 | 36,139 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | | 441,400 | 30,500 | 0 | 0 | 0 |
| | その他（サッカーくじ助成金） | | 80,000 | 93,211 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | | 17,324 | 170,600 | 10,000 | 0 | 0 |
| 従事職員数 | 正規職員（フルタイム勤務者） | | 22 | 2 | 09 | 0 | 0 |
| | その他職員（再任用（短），嘱託職員等） | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

3 具体的施策評価 (Check) **主要事業名:2019年茨城国体の開催準備(施設整備事業)**

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

| 具体的施策名 | 達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定 | | 事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか | 成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか | 執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価 | 個別事業実績評価 |
|------------------------------|--|--|---|--|--|---|
| | 事業実施に直接関連する指標 | 成果に関する指標 | | | | |
| ①ト伝の郷多目的球技場改修工事 【比率: 75%】 | 入札の執行 改修内容の検討, 協議, 決定 工事の監督, 工程管理, 検査の実施, 工事の完了, JFA公認 | 日本サッカー協会公認の人工芝グラウンドの整備 (約40,000㎡の人工芝張替え工事 サッカーコート2面) 観覧席396席, LED照明設備の整備 | 住民説明会の開催(1回), 工事の監督・定例会議の開催(週1回), 中間検査の実施(6回), JFAの公認認定 | 設計図書に沿った工事ができた。追加工事の対応や設計外の改修工事を実施した。厳しい工程の中, 工期内に完成させた。 | (評価をふまえた改善点) 週1回の工程会議では施工者と綿密に打合せを行い, 多くの立会いをすることで工期内に竣工することができた。 | 個別事業実績評価点: 65 工程が厳しい中で, 施工者と調整しながら順調に工事を進捗させることができた。JFA公認も手直しなく取得することができた。 |
| ②高松緑地多目的球技場整備工事 【比率: 20%】 | 入札の執行 工事内容の検討, 協議, 決定 工事の監督, 工程管理, 検査の実施, JFA公認 設計内容の確認, 関係法令の遵守, 関係課との調整 | 日本サッカー協会公認の人工芝グラウンドの整備 (約9,380㎡の人工芝工事 サッカーコート1面) クラブハウス整備工事 実施設計業務 | 工事の監督, 定例会議の開催(週1回), 中間検査の実施(3回) 設計内容についての協議, 検討, 調整 | 設計図書に沿った工事の実施及び追加工事に対応をした。 設計内容について関係課との調整し平面及び立面プランを完成させた。 | 工程会議や立会いを行い, 現場との調整を綿密に行っている。 設計内容について関係課と協議, 調整, 確認を行い平面プランを完成させた。 | 個別事業実績評価点: 17 施工者と現場で意見を交わし, 適切な指示をすることができている。複数の工事が絡むため, 重複する箇所を重点に打合せを行った。 |
| ③北海浜多目的球技場整備工事 【比率: 5%】 | 入札の執行 工事及び工程の監督, 施工状況の確認, 定例会議の実施, 工期内の完成 | 屋外トイレの整備工事 | 工程や資料材料の確認, 施工状況の立会い, 定例会議の開催(週1回) | 設計図書に沿った工事ができた。要望があった追加工事の対応を行った。工期内に完成させた。 | 確認を受けず施工されてしまった工程があり, やり直しを指示した経過があったため, より現場に出向き確認を行う必要がある。 | 個別事業実績評価点: 3.8 施工者への指示がうまく伝わっていないことがあり, 修正をする場面があったが工期内に工事を竣工することができた。 |

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

| | | | | | | | |
|----------------------|--|----|------------------------------------|------|---|--------|---|
| 総合評価方法 | 具体的施策別の比率に, 事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0, B=0.65, C=0.4)を乗じ, 個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。 | | 合計点数 | 85.5 | A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下 | 総合評価結果 | A |
| 実績 | 社会情勢や財政, 他市での取り組みなどを考慮し, 事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 厳しい財政の中で, 国, 県, サッカーくじ助成等の補助金や交付金を活用し, 施設整備を行っている。限られた予算を最大限に有効活用し, 国体施設を整備することはもちろんのこと, 国民体育大会が終わった後も多くの市民が利用できるように配慮して施設整備を行っている。 | | | | | | |
| 充実, 現状維持, 見直し, 休止・廃止 | 現状維持 | 理由 | 平成31年度の国民体育大会まで施設の改修, 整備等を行っていくため。 | | | | |
| 課題 | 継続する場合, 現状認識を踏まえた課題について記入してください。 平成31年の国民体育大会までに老朽化した既存施設(管理棟, トイレ等)の補修や改修を行う必要がある。 | | | | | | |
| 改善策 | 課題に対する改善策について, 期限や具体的な数値などを記入してください。 関係課及び施設管理者と調整を行い, ト伝の郷多目的球技場の管理棟の外壁補修, 内部のシャワー及びトイレの改修, 球技場周辺の屋外トイレ(和便器5箇所)の洋便器への改修, 障がい者トイレの改修, 高松緑地体育館の解体撤去工事及び附属する公園施設の撤去及び改修を行っていく。 | | | | | | |

平成29年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 21-②

| | | | | | | | | |
|-------|--------------------------|--------------|---|--------------|----------|----------|--------------------|-------------|
| 主要事業名 | 2019年茨城国体の開催準備（大会運営準備事業） | | | | | 作成日 | H30.5.31 | |
| | | | | | | 担当課名 | スポーツ推進課 (国体推進室) | |
| 事業の性質 | 法定受託 事務 | 自治事務 (義務) | ○ | 自治事務 (任意) | 市民サービス | 建設事業 | ○ | 管理経費 その他 |
| 事業期間 | 単年度 | 年度繰返し | ○ | 期間限定 | 平成29年度から | 平成31年度まで | | |

1 事業の位置づけ

| | | | | | | | |
|-------------------------|---------|------------------------------|--|---------------------------|---|----------------|--|
| ①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ | | | | ②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ | | | |
| 基本方針 | 6 | ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | | 基本目標 | 1 | スポーツでつながるまちづくり | |
| 体系項目 | (1) | 幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進 | | 基本政策 | 1 | 笑顔あつまるスポーツのまち | |
| 個別施策 | ① | スポーツ事業の開催と体験する機会の提供 | | 基本施策 | 1 | スポーツ交流の推進 | |
| 根拠法令等 | スポーツ基本法 | | | | | | |

2 事業概要 (Plan)

| | |
|--------------------------|--|
| 事務事業の概要・背景 | 平成31年に茨城県で開催する第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」において、鹿嶋市ではサッカー競技（成年男子・少年男子）を実施するにあたり、その開催準備を進める。また、前年度に行われるサッカー競技リハーサル大会である第54回全国社会人サッカー選手権大会の準備を行っていく。 |
| 目的（事業の目指すところ） | 第74回国民体育大会におけるサッカー競技の開催の成功と、国体開催を通じたスポーツに対する市民の機運醸成を図ることを目的とする。 |
| 目的達成のための手順 | <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー競技リハーサル大会（第54回全国社会人サッカー選手権大会）の準備・開催 ・第74回国民体育大会サッカー競技の開催 ・専門委員会会議を開催し、国体開催に向けた各種計画・要項などの策定について、委員である関係団体や関係者と協議を図っていく。 ・記念イベントの開催や各地域イベントでのPRを行い、機運醸成を図っていく。 |
| 国・県・他自治体の動向、又は市民、その他の意見等 | 茨城県において開催するものであり、県内全市町村において競技を実施し、全国的なスポーツを活用した盛り上がりを図っている。 |

3 数値目標と実績 (Do)

| 数値目標 | 目標内容 | 単位 | 29年度 (実績) | 30年度 (予定・見込) | 31年度 (予定・見込) | 32年度 (予定・見込) | 33年度 (予定・見込) |
|------|------|--------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| | | PR活動実施 | 回 | 16 | 24 | 12 | |

| 全体計画 | | 29年度 (決算額：千円) | 30年度 (予算額：千円) | 31年度 (計画額：千円) | 32年度 (計画額：千円) | 33年度 (計画額：千円) |
|-------|-----------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 投入コスト | 第74回国民体育大会鹿嶋市実行委員会負担金 | 2,800 | 55,829 | 140,000 | | |
| | 内訳（会議費） | 25 | 24 | 50 | | |
| | （広報啓発費） | 1,458 | 1,600 | 1,950 | | |
| | （委託費等） | 1,317 | 1,099 | | | |
| | （競技会場運営経費） | | 12,366 | 70,000 | | |
| | （会場設営費） | | 39,885 | 46,000 | | |
| | （歓迎接伴費） | | 855 | 22,000 | | |
| | 合計 | 2,800 | 55,829 | 140,000 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 国県支出金 | | 18,577 | 60,000 | | |
| | 地方債 | | | | | |
| | その他(参加者負担金) | | | | | |
| | 一般財源 | 2,800 | 37,252 | 80,000 | 0 | 0 |
| 従事職員数 | 正規職員（フルタイム勤務者） | 4 | 5 | 5 | | |
| | その他職員（再任用（短）、嘱託職員等） | 1 | 1 | 1 | | |

3 具体的施策評価 (Check) 主要事業名:2019年茨城国体の開催準備(大会運営準備事業)

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

| 具体的施策名 | 達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定 | | 事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか | 成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか | 執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価 | 個別事業実績評価 |
|--|----------------------------------|---|--|---|---|--|
| | 事業実施に直接関連する指標 | 成果に関する指標 | | | | |
| ①専門委員会の開催 【比率: 50%】 | 必要に応じた専門委員会を開催し、国体開催に向けて、準備を進める。 | 総務・企画専門委員会 2回 競技・施設専門委員会 2回 宿泊・交通・衛生・警備専門委員会 1回 | 総務・企画専門委員会開催 (5/24, 11/20) 競技・施設専門委員会開催 (5/18, 12/7) 宿泊・交通・衛生・警備専門委員会開催 (5/23) | 委員である関係団体や関係者からの専門的な見地からの意見をいただくことができた。 | (評価をふまえた改善点) 専門委員会の開催は、計画等の推進状況や委員の負担等も考慮し、開催のタイミングを図ることができた。 | 個別事業実績評価点: 33 [課題] 茨城国体及びリハーサル大会開催に向けたおもてなしなどの調整。 |
| ②国体及びリハーサル大会に関する計画・実施要項作成 【比率: 50%】 | 開催推進計画や年次計画に基づき、必要な計画等を策定する。 | 計画・実施計画等の策定 | 開催推進計画に沿って、上記専門委員会を開催し、21の計画・実施計画を策定。 カシマキッズダンス応援隊の結成。 市内小中学校との連携プロジェクトチーム設立。 | 専門委員会による協議・策定を経て、必要な計画・実施要項等を策定し、リハーサル大会に向けて、準備を進めることができた。 カシマキッズダンス応援隊により市内イベント等でPRを行うことができた。 小中学校との連携プロジェクトチームにより国体を活用した事業を提案できた。 | 計画の先にある取り組みについては、先催県を模倣するのではなく、鹿嶋らしさを持った事業展開を図ることができた。 | 個別事業実績評価点: 45 [課題] 策定した計画・実施要項等に基づいた競技会運営人員の確保。 小中学校との連携事業実施に向けた調整。 |
| 【比率: %】 | | | 評価: | 評価: | 評価: | 個別事業実績評価点: [課題] |

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

| | | | | | | | | |
|-------------------|--|----|--|------|------|---|--------|---|
| 総合評価方法 | 具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。 | | | 合計点数 | 77.3 | A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下 | 総合評価結果 | B |
| 実績 | 社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 3つの専門委員会を設置し、必要に応じて協議を行いながら、茨城国体及び国体のリハーサル大会開催に向けて必要な計画等の策定を行った。また、茨城国体が市内の児童・生徒の成長に寄与し、記憶に残る大会となるよう市内小中学校と連携プロジェクトチームを設立し、国体を活用した事業について協議を行っている。 | | | | | | | |
| 充実、現状維持、見直し、休止・廃止 | 充実 | 理由 | 平成30年の国体のリハーサル大会及び平成31年の茨城国体開催においては、不足施設の仮設対応が必要となる。また、市内小中学校との連携事業の推進などおもてなしに向けた活動を推進していく必要がある。 | | | | | |
| 課題 | 継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 ・茨城国体開催に向けた仮設施設などの精査及び県運営交付金の確保。 ・リハーサル大会及び茨城国体開催でのおもてなしなどの実施に向けた調整。 | | | | | | | |
| 改善策 | 課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 専門委員会において関係団体等と調整していくとともに小中学校との連携プロジェクトチームにおいても協議をしていく。また運営交付金については、県に対し引き続き要望していく。 | | | | | | | |